

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年9月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600156
法人名	社会福祉法人昴和会
事業所名	グループホーム風の丘
所在地	鹿児島県阿久根市赤瀬川379-1 (電話) 0996-72-7023
自己評価作成日	平成26年8月

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年9月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

東シナ海に沈む夕日は絶景であり、左は薩摩川内市の甕島、右は天草を望み、眼下には阿久根大島を一望できる高台に立地している。風の丘ではの生活は尊厳を第一に考え、強制しない、自由な生活、心安らぐ生活を送れるように、健康管理面では訪問診察、訪問看護ステーションと連携を図り、職員も一緒に安らぎと喜びのある暮らしが出来るように支援している。職員の研修制度も整っており、知識や技術の向上に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

国道から少し入り込み、高台の住宅地が続く道路を登り切った地に建てられており、眼下に海を見下ろす景色は絶景である。広い敷地内には同法人の運営する介護老人保健施設が併設されており年中行事へ参加したり、利用者の日常的な散歩コースにもなっている。排泄の自立に向けた取り組みに熱心であり、ポータブル使用の利用者もおらず、開設11年目を迎えるが、入所時より布パンツの利用者も現状を維持できており、排泄チェック表からパターンの把握による適切な声掛けや誘導が功を奏している。玄関には職員が生けた季節の花が飾られており、研修制度も充実している事から、職員はそれぞれが、得意の分野で担当を分け合いながら、やりがいや協調性を高めたケアに努めている。訪問看護や認知症対応の専門医の往診等、健康管理の連携も取れており家族、利用者の安心に繋がっている。利用者の穏やかな表情や生活の様子から、利用者も職員も良く笑い、笑顔で過ごす時間を多く持ち、理念に沿った家庭的な雰囲気大切にされたホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、唱和してホーム会議で反省を述べている。理念を念頭にケアの実践に繋げている。	毎朝の唱和や月1回のミーティングで理念に基づいたケアの振り返りを行っている。理念は職員に浸透しており、ホームが目指すサービスに反映にしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所のグループホームを尋ねたり、いきいきサロンや散歩、ドライブ、同法人との交流会等で交流している。	地域の生き生きサロンへ参加したり、近隣の住民から旬の野菜の差し入れもある。ボランティアや実習生の受け入れもあり、積極的に地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	いきいきサロンや運営推進会議で理解を求めている。スタッフ全員が認知症サポーター養成講座の研修に参加してオレンジリングを持っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施し、出席者からの要望や意見を聞き、サービスに活かしている。	定期的に家族、行政その他の関係機関の出席を得て開催されている。年1回は消防の立会いの避難訓練と併せて行い地域住民も参加し、協力体制作りをしている。行事報告の他、ヒヤリハットや事故報告などを行うことでホームの現状の理解やアドバイスを貰いサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域密着型連絡協議会に参加、運営推進会議への出席、更新時など情報収集に協力をもらっている。</p>	<p>運営推進会議への毎回の出席があり、相談事の対応や研修案内など双方で情報の共有が出来ており、良好な関係である</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>窓・玄関・共に施錠することなくスタッフ全員で拘束をしないケアに取り組み、マニュアルを基に勉強会をしている。</p>	<p>職員で担当者を決めて身体拘束に関する勉強会を行っている。日常的な言葉使いを含めた具体的な事例などを話し合い、互いに気づきを指摘し、身体拘束をしない自由な生活を支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎年1回、勉強会を実施し再確認を行っている。尊厳を念頭に置き対応している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>日常生活自立支援事業は入居者2名が利用しており、社会福祉協議会と連携を図っている。勉強会も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時や改訂時には、十分な説明を行い、同意書を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設け、また面接時に意見や要望が言える雰囲気を作っている。</p>	<p>年2回の家族会の折、意見や要望の収集方法としてホーム独自のアンケートを採っている。率直な意見も出され職員間で話し合い改善策を見出し家族へ返答することで信頼関係が生まれている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日々のコミュニケーションに心掛けており、個々の面接やホーム会議で話しやすい場を作っている。</p>	<p>職員は利用者毎に担当を決めており、家族の連絡や便りのコメントなど細かな対応やケアが出来ている。全員が何らかの資格を保持しており、職員間での協調性や情報の共有を徹底している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>余裕を持った人員の確保をしており、急な休みでも対応出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>看護部教育委員会の各レベル別に研修に参加したり、法人全体研修に全スタッフが出席している。院外研修への参加も促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に入会し、勉強会や交流会をしている。お互いの運営推進会議に出席し、避難訓練にも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人や家族が求めているものを理解し、不安や困っている事を受け止めて、安心してもらえる様に関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の立場に立ち、しっかりと話しに耳を傾けながら信頼関係を築くように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の思いや状況など確認、受け止めて信頼関係を築きながら必要なサービスに繋がられるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩であることを職員全員が共有し、尊厳を大切にしてお互いが協働しながら穏やかな生活が出来るように、場面作りや声掛けを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の出来事、気付きの情報を面会時やホーム便りで伝え、本人と家族の絆が途切れないようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事や他施設の行事に参加・馴染みの美容室へ通ったり出合いの場を作っている。	法人系列の施設間の行事参加で、顔馴染みの関係がある。地域の美容室の訪問サービスを利用したり、ドライブのついでに自宅に立ち寄ることもあり、墓参りも家族の協力を得ながらや馴染みの人や場との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員全員が入居者同士の関係を把握している。気の合う方同士で過ごせる場の設定・場面を調整している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後にも本人の様子を伺いながら、相談支援できる体制を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の中で希望の把握に努め意向に添った柔軟な対応をしている。	殆どの利用者が意思の疎通が出来ている。難しい場合は家族からの情報を密に採り、日常的に職員とゆったり過ごす時間が取れている事から、その人らしい生活の支援が出来ている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	契約時に十分な聞き取りをし、利用後も本人や家族等から、以前の生活環境を尋ねている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムを把握し、行動、言動を観察して職員全員が把握できるように、情報交換を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向を取り入れて作成している。 モニタリングも行っている。	家族が面会に来た時に合わせて担当者会議を開くように工夫している。本人や家族の意見や意向を取り入れて、ケアマネジャーや利用者毎の担当職員を中心に情報を共有し、作成している。3カ月に一度の頻度でモニタリングを行い、現状に即したプランの見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を記録し、申し送り で情報の共有をして、ケアに活 かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々 に生まれるニーズに対応して、既 存のサービスに捉われない、柔軟 な支援やサービスの多機能化に 取り組んでいる</p>	<p>状況に応じた通院介助、外出、 外泊の支援をしている。さらに 訪問看護と連携を図り、急変時 も対応できる体制を取っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えて いる地域資源を把握し、本人が 心身の力を発揮しながら安全で 豊かな暮らしを楽しむことが できるよう支援している</p>	<p>本人、家族より地域との関わり を知り、交流の機会を持てるよ うに外出や地域の行事参加を 行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望 を大切に、納得が得られたかか りつけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けられ るように支援している</p>	<p>本人、家族等の希望を考慮して 医療機関で受診できるように支 援している。</p>	<p>訪問看護ステーションとの連携 や認知症対応の往診の体制も 整っている。ホームと家族の双 方で臨機応変に同行受診をして おり、受診結果の情報も共有で きている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の暮らしの中で気付いたことを訪問看護や訪問診察時に看護師に報告し、情報を共有し協力を得ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入居者の入院時、面会にて繋がりを保ち安心して治療できるように、病院スタッフとの情報交換や相談を行い、退院時の受け入れ体制を整えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期について本人や家族の意見を伺い、支援できるように取り組んでいる。看取り加算の導入を行い、家族に同意書を貰っている。</p>	<p>未だ看取りの経験はないが、看取り加算の導入に伴い、新たにホームとして「看取りに関する指針」を文書化し家族に説明、同意を得ている。今後、看取り希望に対して、段階に応じた同意書の取り直しの必要性などを再確認していく方向である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時・事故発生時の対応が出来るよう勉強会を行い、実技指導を受け不明な点は質問し発生時、対応できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し、同法人のスタッフや近隣のグループホームスタッフも参加している。自主訓練も行い、避難方法の確認も行っている。	消防署立会いの下、昼1回、夜1回の想定で訓練を行い、内1回は運営推進会議とセットで行っている。近隣住民の見守りの協力や系列施設の職員も訓練に参加している。自主訓練も組み込み連絡網の確認や抜き打ちの訓練も行い、緊急時の対策に力を入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の個性を尊重し、プライバシーの保護とその人の人格を大切に、声掛けや支援をしている。	トイレ誘導や介助時など羞恥心やプライバシーへは最大の配慮をしている。法人とホーム独自で研修会を設け、様々な場面で利用者の尊重とプライバシーへの適切な対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の望みを日常の会話の中から引き出し、自己の意思で選択できる場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の気分や体調を考慮し、一日一日を安らぎと活動できるように、暮らしの場に寄り添い支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個性を大切に、その人らしい身だしなみ出来るように本人の意思を尊重している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を提供し、下ごしらえを手伝ってもらったり、好みのメニューを聞いて取り入れている。片付けなど一緒に行っている。	年1回は車椅子対応の店で外食をすることが恒例になっており、メニュー選びは利用者の楽しみになっている。調理の下ごしらえや後片付けなど力量に応じた手伝いをしている。遠足、花見、敬老会など季節の行事食でメリハリのある食の提供になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を毎回チェックし、個々の嗜好や適量の把握を行っている。水分摂取が十分できるようこまめに補給している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きやうがいの声掛けを行い、不十分な箇所や出来ない時は援助し清潔にしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	声掛けや見守りにより排泄の失敗やおむつ使用を減らせるように、個々の排泄パターンや習慣を活かしてトイレでの自立に向けた支援を行っている。	開設当所から布パンツを維持している利用者も多い。個々に応じた排泄パターンの把握を基に職員の適切な声掛けや連携が出来ており、トイレでの排泄に向けた支援が出来ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材や乳製品など取り入れたり、毎日のレクリエーションで体操をしたり、体を動かして便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人一人の希望やタイミングに合わせて、個々が楽しく入浴できるように支援している。	身体状況に応じて個浴やシャワー浴などで対応し、週3回の支援になっている。職員との会話や、季節に応じボнтan湯にするなど入浴が楽しみになるような工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めている。また、個々に合わせてゆっくり休息がとれるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人が使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解し、内服変更時は症状の変化を主治医へ報告し確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で一人の力を発揮してもらえるように、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人一人への体調を考慮して、御家族や地域の方との協力を得て、外出の機会を多く持てるように支援している。	花見やドライブなど気候や身体状況に配慮しつつ、なるべく全員での外出の機会を作っている。買い物などの個別支援も行い、日常的な近隣の散歩では地域住民と挨拶を交わす関係も出来ている。家族と一緒に墓参りや自宅に帰る利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の協力を得て、小額のお金を持てる方もいる。ホーム」で管理している方でも個人の買い物の際、代金を支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>プライバシーに配慮して、電話が出来るように支援している。手紙は読まれるが返信は促すもされない。ホーム便りは、毎月送付している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生花や壁面で季節を感じやすいようにしている。音や光に不快感がないよう配慮して、それぞれ好きな場所で過ごせるようにしている。</p>	<p>リビングには大型のソファが設置しており、利用者がゆったりくつろげるスペースになっている。ロールカーテンで室温や視界の調整を工夫している。ホーム全体が清掃が行き届き臭いもなく清潔感が漂っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関や廊下にソファが設置しており、気の合った方とくつろいだり、一人で落ち着いて過ごせるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談し、馴染みの物を置いたり、家族の写真、花、鉢、カレンダー、時計を設置しその人らしく過ごせるよう工夫している。	身体状況に応じ電動や畳のベッドを設置してある。使い慣れた布団や家族写真などを持ち込み、趣味の習字などの作品を飾り、利用者が安心して暮らせるプライベート空間である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーになっており、トイレ、浴室には分かりやすい表示をしている。時計やカレンダーも見やすい位置に配慮、不安な材料を取り除けるように、スタッフで話し合っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない